

リーダ試験テスト用ロボット

NFC Fourm
EMVco
ISO10373-6
ISO10373-7

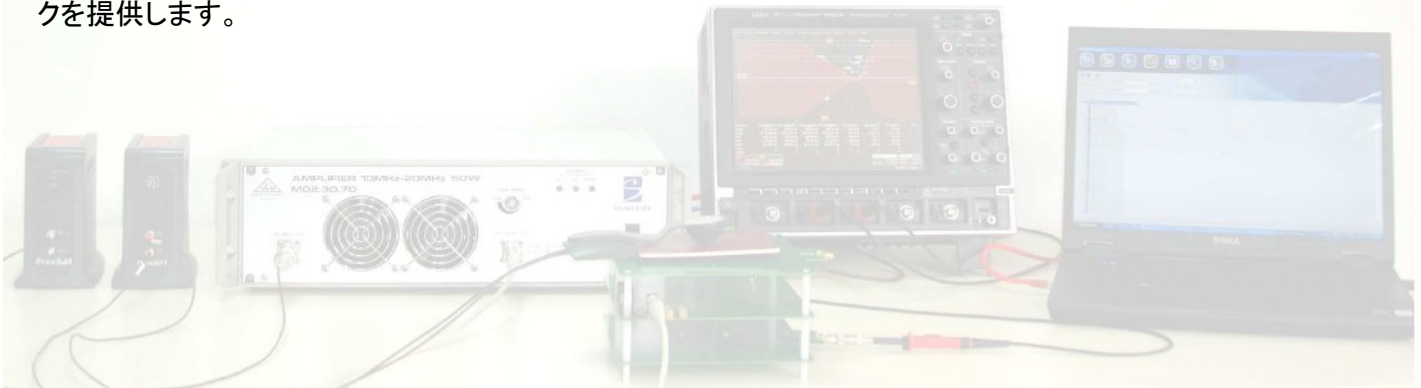
Soliatiss社は、テストラボの効率を向上させるソリューションを準備しました。非接触型リーダのためのSoliatissロボットは、リーダの試験運用を向上させ、より自動化、より再現性を確保できます。今までのリーダのフロントに複数回も、非接触型カードをかざすという面倒な方法を軽減することを可能にしました。

非接触型リーダの繰り返し手作業で広範なシリーズの要求した結果、テストの結果が不一致といった問題が発生しておりました。そして、これらの繰り返しの操作は、同時に煩雑でした。カードとリーダの相互作用のなかで、不要なバリエーションのソースは、リーダのテストと検証の失敗につながっていました。

現在、非接触型リーダのためのSoliatissロボットとカードは、自動的にテストの再現性と信頼性を確保するためにリーダの動作フィールドに移動されます。ロボットは、自動的にすべての試験運用をISO14443/ ISO15693とICAO標準に照らして、RFリーダを検証するための必要なすべてのオペレーションを実行します。

特別に、RFリーダテストの制約に合うように設計されています。3軸(X、Y、Z軸)に沿っての動きをプログラムされ、金属部分はなくすべてプレキシガラスで作られています。カードは、正確にはフィールドのすべてのポイントに配置することができるように、またロボットの使用はこれらのポイントごとに特定のテストスクリプトを作成することができます。

ロボットは、グローバルテストベンチの一部であるため、非接触型リーダのためにSoliatissロボットは、Soliatissの統合された製品となります。Soliatiss社は、ユーザが適合化、編集することができるPython言語のなかで、すべてのライブラリを提供します。テストラボのなかで、使いやすさと透明性を持たせた統合されたフレームワークを提供します。



ロボットの特殊性

- ・200リーダとプローブの間、すべての要素が200mmに限り、様々な要素間の相互作用を制限するためにプラスチック化しています。ロボットRFIDの寸法: 全高: 1425mm - 高グラウンド/トレイの上部: 735 mm - 幅: 850mm - 深さ: 745 mmの(720mm ハンドルなし)

構造

- ・テストの運転について: この機械はX、Y、Zの3つの異なる軸から成っています。
リーダの中心の周りのX、Y軸(地平軸)上の200mmのプローブをこの機械は動くことができます。
このことは、XとY軸上で合計400mmの動作可能であることを示しています。
Z軸(垂直軸)上では、リーダのあるトレイから400mm動作可能です。
このことによって、厚さが最大100mmのリーダを使用しても300mmで効果的に作動することが可能になります。軸の正確さは+/-1mm以内です。
- ・スピード/加速: 軸の最大スピードは50mm/秒

実行

- ・テストベンチはUSB接続を通じて作動します。A SCRIPTIS Framework Library によってロボットを管理します。

電源についての情報

- ・この機械は主電源の供給に220V 50Hzを必要とします。最大で3アンペア消費します。

安全/適合

- ・この装置は、閉鎖されて防護された空間にあります。防護が開かれた場合には、機械は作動不能となり特定のログが接続されているPCに送られます。この装置はECと直接、連動しています。

ソフトウェア環境

- ・このロボットはSoliatISソフトウェア環境であるSCRIPTIS FRAMEWORKによって自動的に管理されています。またISO/ICAO標準に基づいたテストカード/ePassport、リーダ/Border controlへの自動的なソリューションを必要とする場合には、このロボットはRFテストベンチと接続することが可能です。



ポジティブワン株式会社

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティ・ウエスト22F

TEL 03-5330-8648 FAX 03-4360-5301

<http://www.positive-one.com>

poc_sales@positive-one.com

www.positive-one.com